

東海大学機友会々報

東海大学機友会事務局
 湘南校舎 動力機械事務室
 〒259-12 神奈川県平塚市北金目1117
 ☎ 0463(58)1211(内)4321
 印刷 信友印刷株式会社
 TEL 03-3444-2481(代)
 FAX 03-3444-2482

機械系工学科設立三十周年記念式典開催決定

現在本学の機械系工学科は、動力機械・生産機械・精密機械、第二工学部機械工学科の四学科に分れ、社会の要請に対して応えている。これら四学科は昭和三十六年に開設された機械工学科が拡大発展したものであり、本年設立三十周年を迎える。従って、本年十一月に機械系工学科設立三十周年記念式典を大々的に開催することが決定され、現在その準備が進められている。機友会は、動力機械、第二工学部機械、大学院機械工学の卒業生が母体となっており、生産・精密機械の同窓生と歩調を合せてこの記念行事に対してどのような形で協力できるのか早急に検討がせまられている。

連絡協議会開催される

機械系四学科先生方と同系四学科同窓会(機友会・生友会・精密機械同窓会・第二工OB会)との連絡協議会が三月十七日(日)東京代々木で開催された。本会合の主旨は、機械系工学科設立三十周年と機械系同窓会発足十周年等が重なり、これを機に親睦を兼ねた記念行事について語り合うことであった。同窓生は懐かしい母校の先生方と歓談でき、また同窓会の活躍を先生方にもお伝えできる機会を得たことに喜び、和気あいあいの中で次のようなことが検討された。

一、三十周年記念行事が無事遂行されるよう同窓会は協力する。

二、四同窓会の活躍にアンパランスがあるので各学科の出来る範囲の協力を得て組織づくりをする。

三、広告や宣伝を行うに当たり、各同窓会が個々に活動すると問題が生じるのでとりあえず機友会が責任をもって調整する。

一方機友会も本年で発足十周年を迎えることになり、学科の記念行事との関係について何らかの調整が必要となる模様である。この記念すべき行事の詳細な説明を受けるため去る一月二十五日河西会長、内山幹事が動力機械および第二工学部機械の康井主任教授を訪ねた。席上河西会長は、機友会も同窓会として記念行事に参加させていただき

たいが、四学科主催の学科行事に対して二学科のみを代表する機友会が単独で行動することはできず苦慮しているとして、その対応策について伺った。これに対し康井教授は昨年からの三十周年記念行事準備委員会を組織し、四学科が綿密に連携して作業を進めているが、あくまでも主催は四学科となっており、同窓会との共催はいまや困難であると述べられた。しかしこの記念日を共に喜びたい機友会の主旨は理解できるので協力願う予定である旨康井教授は要請された。その後、康井教授の計らいで動力機械高本教授・円能寺講師平井技師、生産機械青木主任教授がそれぞれ

第四回機友会総会開催

東海大学機友会第四回総会は、平成2年11月3日(文化の日)東海大学湘南校舎12号館3階13



303製図室において開催されました。当日は東海大学建学祭期間中であり、更に12号館5階では東海大学進学説明会が開催されており、我々卒業生及び多数の在校生、そしてこれから入学予定の高校生とその御父兄など各年代層にわたり、まさに時代の流れを感じるようなパスでした。

総会に先立ち、会則に則って、第五回代議員会が午後一時半より同会場にて開かれた。

代議員総数102名中39名が出席し、まず議長団に岡田隆夫(39年度卒)、奥野亜男(41年度卒)の両氏が選出された。主な議題である役員改選が審議された結果、第二期会長の河西正彦会長(41年度卒)をはじめ岡田隆夫(39年度卒)、奥野亜男(41年度卒)、大原順夫(43年度卒)の三副会長と各幹事及び代議員は就任してわずか3年目でもあり、今後より一層の活躍と具体的、実践的各事業の実行を期待する声が非常に強く、満場一致で留任の決議となった。

さらに河西会長より次のような人事案が提出された。副会長に伊藤和義氏(40年度卒)を指名し、副会長四名体制でより強

授、北澤講師、精密機械山田主任教授、吉田助教授、第二工相谷教授が主任室に集まり三十周年準備の件、各同窓会の状況などを話題にして話し合った。その結果、四学科の先生方と各同窓会の役員は時々一同に会して懇親会をもち、お互いに意思の疎通を計ってはどうかという意見が出され、三月十七日(日)東京「代々木」にて先生方八名、同窓会七、九名で連絡協議会をもつことになった。

第四回機友会懇親会開催される

代議員委員会・総会の後には毎年11月3日恒例になっている、機友会懇親会が湘南校舎内「松前会館」にて午後三時より開かれました。早いもので今年も第四回となり、すっかりお馴染みなられた人達が一年ぶりの再会を喜んだり、友人のお子様成長に驚いたり、家族ぐるみ参加の会であるため和やかさ一ぱいの懇親会でした。毎年学長の松前達郎先生はじめ東海大学同窓会長及び工学部・第二工学部部長の秋三先生、その他教職員を呼んでいました。

の方々にも御家族にて御参加を頂き、その上御祝辞や御祝儀まで頂戴いたしており厚く御礼申し上げます。毎年参加者も増え、懇親会は機友会行事の中でも市広い情報交換の場として重要な役割を果しております。また特に小さな子供達が期待しておりましてビンゴゲームはすっかり定番としており、今回は景品の用意を幹事の伊藤和義(40年度卒)様にお願いたしましたところ、例年と異なった品物が多く非常に人気を呼んでいました。



来年も恒例により建学祭期間中の11月3日に懇親会を開催致しますので、今回御参加の方はもちろん、また今回御欠席の方々も次回にはお友達をお誘いの上、是非御参加ください。お待ちしております。お申し込みをお願いします。

力な活動を行ないたい。これまでに会計監査であった鈴木良幸氏(41年度卒)には幹事をお願いしたい。会計幹事は、伊藤昌夫氏(40年度卒)にかわって円能寺久行氏(46年度卒)に依頼したい。さらに、会計監査は従来の佐々木彰氏(39年度卒)と会計幹事であった伊藤昌夫氏(40年度卒)をお願いしたい。審議の結果、人事案はすべて承認され、そして総会開催の決

祝 機械系工学科創立30周年・機友会創立10周年



水と空気と環境の明日を考える... 荏原グループ

荏原製作所・荏原インフィルコ・荏原サービス・荏原プラント建設・荏原実業



平成3年2月18日(月)に平成2年度卒業予定の学生による謝恩会が東海大学湘南校舎11号館食堂にて午後6時より開催されました。この日は卒業研究発表会の日であり、朝から一年間の成果を十分に発表出来たらしく、謝恩会は、まるで卒業パーティの様な盛況でした。まず謝恩会幹事長の大八木隆春君より先生方に謝辞があり、そして次に康井主任教授より294名の学生に対して、「どの卒研も非常に内容があり、活発に発表が出来ました。この成果を社会に出ても十分に

平成2年度 卒研発表会 謝恩会 開催される

まず、河西会長より、機友会創設以来年々々の活動が活発に行なわれて来ており特に今年度の総会・懇親会に対する返信数が



増えたこと等で、機友会が認識されてきたことがわかる。今後も各会員の協力を得て更に発展に努力したい旨の挨拶と、先程

御来賓代表として工学部長の萩三二教授より御祝辞が述べられた後、機友会河西会長より、機友会の活動報告と機友会の意義に関する内容の挨拶がありました。すなわち、機友会は機械工学科を巣立った者同志が連帯感と親睦を深め、また母校の研究室や先生方とも密接な連絡を保ちながら、互いに発展していく為の依り処になる様な機関である存在意義が説明され、その機友会発展の為に是非とも皆様方に会費納入の御協力をいただきました。三月二十五日の平成2年度卒業式において次の方々が表彰されました。おめでとうございます。

代議員会にて次期役員が全員承認されたとの報告があり、拍手をもって承認された。

★議事第2項は予算および事業活動報告であり、事業計画の説明を年間スケジュール表に基づき幹事の内山皓氏(44年度卒)より報告された。その概要は次の通りである。

①会報について……毎年一回(3月)に発行しており、これまで第7号まで発行。

②卒研ゼミナル特集号について……昨年度(平成元年11月)主任教授の康井先生をはじめ動力機械の全先生方の援助で第1号を発刊、卒業生には卒業研究の紹介に、在校生(特に3年生)には卒研のガイダンスに、大変役立つという。今年も第2号を発行(平成2年11月中旬)し、さらに3号から一ページ分は会報とし、一般情報とともに発行していきたい。

③新卒業生(新会員)名簿の発行について……毎年3月に作成し、卒業式の当日新卒業生へ配布している。

④機友会賞について……卒業式の当日新卒業生に対し機友会賞(約30名)を毎年授与している。



「編集機能付ビデオ装置」一式の目録が学科に贈られました。その後幹事長による乾杯の音頭で一気にならぬと、学生達の「若いエネルギー」あふれる謝恩会は感謝・感激でいっぱい雰囲気でした。

機友会賞は学業によく励み且つクラスの団結に寄与した学生、あるいは特別な努力や学科のために貢献した学生等に授与される賞です。三月二十五日の平成2年度卒業式において次の方々が表彰されました。おめでとうございます。

機友会表彰者

⑤会費の徴集について……主に卒業式の日(新卒業生に会費納入をお願いしているが、年々増取しており、機友会に御理解の賜と感謝しております。また来年は機友会も十周年を迎えるので既卒業生からの継続会費の徴集をいかにして行なうか検討を要する課題である。

⑥懇親会について……毎年11月3日の建学祭開催期間中に開かれている。今年で4回目となり、機友会の懇親会は家族連れであるため子供を対象にしたゲーム大会も企画し、毎年盛大に開催している。より多くの会員の参加をお願いしたい。

⑦幹事会について……毎月1回代々木校舎で行なっており、現在までに45回開催した。

⑧会員名簿について……名簿改訂第2版を平成3年3月に発行する予定で準備中である。

現在掲載広告を募集している。⑨その他の活動……就職懇談会・特別講演会・新卒業生主催の謝恩会への出席等の活動である。今後はさらに就職・求人特集号の発行も行ってゆきたい。

⑩予算案について……来期も今年の決算とほぼ同じになると考えられるが、通信費会報(送付等々)に非常に多く費やされるであろう。また名簿発刊に臨時支出を予定している。

★議事第3項は財務報告で財務担当幹事の村上俊太郎氏(39年度卒)より62年度以降の収支説明があった(第6面に会計報告)。

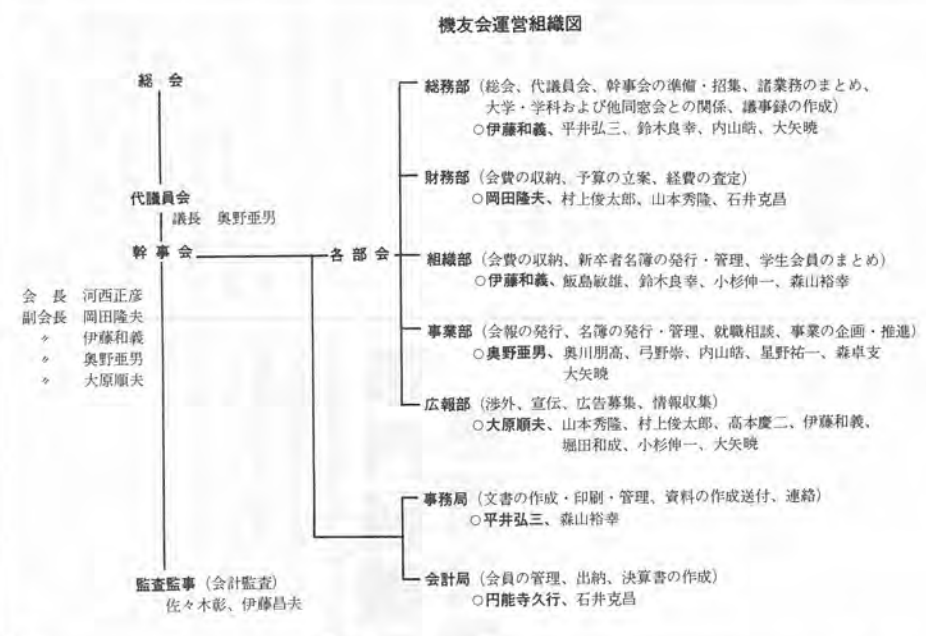
★議事第4項は監査報告で会計監査の鈴木良幸氏(41年度卒)より監査の結果、資料の通り相違のない事が報告された。

★議事第5項は会則改正について……河西正彦会長(41年度卒)より現会則を一部改正したい。現在幹事会にて改正案を審議中である。会則の改正は本来総会の承認を必要とするが、本件を幹事会に一任させていただきたいとの動議があった。

★議事第6項は機友会10周年・及び機械系四学科創立30周年祝賀会についてである。幹事の村上俊太郎氏(39年度卒)より機械系4学科設立30周年祝賀会が平成3年11月24日(日曜日)国会議事堂前のキャピトル東急ホテル(旧東京ヒルトン)にて開催する予定である。機友会も他学科同窓会とともに、学科へ協力したいと考えているので、その際は皆様の多数御参加をお願いしたい旨の説明があった。

以上のような議事について質疑応答の結果、全議事に対して総会の承認が得られ、盛大のうち総会を終了した。

- 特別賞**
- 浅井 忠之 水口 和生
根本 圭一 横山 充
- 機友会賞**
- 大八木隆春 鈴木 清和
河合 直樹 菊谷 慎二
橋本 智行 太田 恭崇
日野澤真司 藤田 一裕
木山 章光 佐藤 一成
宇津木正之 香取 啓司
丸山 昭治 渡辺 光児
伊藤 伸 野口 和敬
矢野 竜二 松尾 裕史
大辻 孝昌 志村 裕二
山梨 徹 加藤 裕康
土橋 正幸 新間 高弘
小川 誠司 塚原 孝之
井上 隆夫 渡辺 純一
小寺 寛之 渡辺 昇



あらゆるニーズにお応えする鋭角の頭脳集団!! (人材募集中)

SOIC 株式会社ソイック

〒150 東京都渋谷区恵比寿西1丁目33番15号 EN代官山ビル
TEL (03)3780-5811(代)
FAX (03)3780-5819 代表取締役 大原順夫(昭和43年度卒)

- 情報機器システムの調査研究及び開発受注
- アプリケーションソフトの開発及び運用
- オンラインリアルタイム アプリケーションシステムの設計受託
- 制御システム(電力・計測・データ通信等)の開発
- 各種ミニコン使用システムの開発

祝 機械系工学科創立30周年・機友会創立10周年

荏原インフィルコ株式会社

〒108 東京都港区港南1-6-27 ☎03-3458-2211
卒業生 佐藤百一(S48) 河合明比古(S51)

— 美しい環境を人類の共通財産として —

浄水・用水処理 水質汚濁防止 廃棄物処理 悪臭防止 化学装置 自動制御・測定・分析機器 医療用具 医薬品 水処理・工業薬品 その他化学製品

学科だより 新任の先生紹介



福垣教授談

「船用推進プラントの設計技術者として蒸気タービン、ガスタービン、ディーゼル、原子力、石炭焚き等の動力プラントの研究開発、計画設計に36年間携わって来た経験を活かして実社会が求める人材即ち自ら納得するまで物事の本質を究め、信頼性・安全性・環境保全等の社会的責任を自覚した技術者の育成に努めたく皆様のご理解とご支援をお願い致します。」

福垣敦男教授 略歴

昭和二十九年東京大学工学部機械工科学科卒、昭和三十六年米国ミシガン大学原子力工学修士課程修了、工学博士、三菱重工業務株式会社技師を経て平成二年四月より東海大学勤務、船用ディーゼルプラントの省エネルギーの研究で日本造船学会賞を受賞、専門は船用動力プラント技術。

浅沼 強 教授 井ノ内一雄 教授

右の両先生が平成二年三月三十一日付で定年退職されました。今後の御活躍と御健康を教職員、会員共々心よりお願い申し上げます。

OB・OG集れ

現在の機械系工科学科(動力機械工科学科・生産機械工科学科・精密機械工科学科・第二工学部機械工科学科)は、昭和三十六年四月に八十数名の学生をむかえて代々木校舎に開設された機械工科学科が発展したものであり、年月のたつのは早いもので平成三年度には設立三十周年を迎える。そこで機械系四学科では設立三十周年記念行事実行委員会を組織し、記念行事の計画を進めている。

その一環として、機械系四学科設立三十周年記念パーティが、平成三年十一月二十四日(日)、ホテル「キャピトル東急」で行なわれることになっています。卒業生の皆様には近日中に、ご案内が届くと思っておりますので、その節には万障繰り合せ集りましょう。

タイはよいぞ!!

タイ王国と東海大学はたいへん友好的な関係をつづけてきました。昨年の八月にも本学からタイへの友好使節団が訪れました。また飯島先生をはじめ数名の教員がモンクット大学へ行き、教育と研究で交流を続けてきました。本学へ留学したタイの卒業生も帰国後各方面で活躍しております。

さてそんなわけで、タイについてはコネと情報はかなりなもの、かたいことは別にしても行

二先生に 学位授与される

このたび動力機械工科学科の村上俊太郎助教授の「ターバ管を用いた空洞形消音器の音響特性に関する研究」および円能寺久行講師の「軸対称衝突空気噴流の衝突領域における流れ特性に関する研究」に対して、工学博士号が授与されました。

日本造船学会賞 受賞される

動力機械工科学科の福垣敦男教授が、永年続けられた研究「船用ディーゼル・ターボエンジン用ギヤシステムに関する研究」を日本造船学会に発表し、その内容が造船技術の向上および造船事業の発展に貢献するものと認められ、平成二年五月「日本造船学会賞」を受賞されました。

同賞は明治四十五年以来、造船技術界における権威ある賞として広く知られており、福垣教授がそのような大賞を受賞されましたことは当学科の名譽でもあります。今後ともますますの御活躍を期待しましょう。



安全です。

これは辛い。しかし唐辛子を避けて口に入ればそれほどでもなく、特に神経質な人は別として食べておいしいよ。むしろ日本で日頃食べているゆでたり焼いたりしたエビ、肉野菜いために近いものがけっこう多い。勿論めずらしいものも。ランチなら百円、ディナーは三百円でおつりが来て満腹。デザート、果物は日本より豊富。コーヒーマーは六十円也。タイビールは二銘柄でともいいます。

早朝から深夜まで活気に満ちた国際都市。新しいビルがどんどん建てられている反面、貧しさも目立つ。しかし外国人には解放的で、ゴロツキなど居らずこちらで想像するよりはるかに

（ホテル）
四、五日くらいの滞在ならば一万五千円クラスに泊まればよい気分。部屋は広い。ただし食事日本並みのお値段。
（あし）

タイから研修に 動力機械工科学科へ二教員

このたび生産機械工科学科の橋本巨助教授が二年の予定で赴任されました。ソムチャイ・ノラセタソポン氏
一九五六年生れ。タイ国・チュラロンコン大学原子力工科学科卒業。モンクット王工科大学機械工科学科助教授。材料力学、伝熱工学などの講義を担当。研究分野は複合材料。

アカデー・シンドパック氏
一九四一年生れ。米国ウエスココースト大学システム工科学科修士課程修了。モンクット王工科大学機械工科学科専任講師。空気調和、応用熱力学などの講義を担当。研究分野は騒音制御。

バスは次々と発着し二十円以下。だが慣れないと無理です。あふれるほど走っているタクシーは運ちゃんや交渉で。ワンメーター二百円くらいを念頭においておけばよい。百まで数えられれば便利です。

水上マーケットにはぜひ行くべし。ボートに乗った二時間は楽しく、またタイの現状が海からよく見える。王宮・寺院も一見の価値あり。日本のデパートはすっかりバンコックの人々になじまれているが、ついでに市場の中へも入ってみよう。モンクット大学のあるラカバンまでは車で一時間たらず。見学かねてドライブすると郊外の風景に接することができます。

バンコックからの日帰りコースなら北には古都アユタヤ、南はパタヤ海岸がある。一泊の予定でチェンマイまで足をのばせばさらにタイの真髄にふれられるはず。

おわりに、タイの女性は七〇パーセントがチャームィング派。

会員近況

平成二年十一月三日に行なわれた懇親会への出席連絡ハガキの通信欄へ寄せられた会員の皆様の近況を掲載します。今後も順次掲載しますので近況をお知らせ下さい。

- 昭和四十一年度 赤羽雄兵(機械工科学科卒) (高分子応用研究科) 元気です。車が大あたり、新聞のクイズで、エヘ…… (コンチクショウうまくやりましたね。 編集子)
- 昭和五十年年度 山田宗彦(動力機械卒) (富士機械株) 機友会とはどういふものかわからないので委任状にはサインしません。
- 昭和四十八年度 竹本知博(第二工機械卒) (内海町農協安田支所) いつもお世話になっております。飯島先生はもうタイからお帰りでしょか。総会に出席していられたらよろしくお伝え下さい。

今後の皆様の活躍をお祈り申し上げます。

飯島先生は平成三年四月中旬に帰国の予定です。 編集子

昭和三十七年度 中根将俊(動力機械卒) (石狩造機株) 今だ独身です。除雪機の設計をやっています。せつかく作ったのに暖冬であまり売れませんでした。(めげずに頑張ってください。 弓野)

東芝特約店 (金属・新素材)
ウエキコーポレーション
(旧社名: ウエキガス科学(株))
金属材料・新素材・金属CVD装置・半導体用ガス・各種設備(設計・施工)の専門商社

米 国 駐 在 日 向 野 保 雄 (S52年卒)
本 社 勤 務 奥 山 俊 英 (S54年卒)

本 社 〒146 東 京 都 大 田 区 久 が 原 5 丁 目 33 番 10 号
TEL (03) 3753-2211 FAX (03) 3753-7117
支 店 北 関 東・相 模 原 事 業 所 泉・姫 路・北 九 州・大 分
営 業 所 仙 台・埼 玉・横 浜・大 阪 出 張 所 厚 木・浜 松

祝 機械系工科学科創立30周年・機友会創立10周年

荏原プラント建設株式会社

代表取締役社長 真野 一徳 〒144 東京都大田区羽田旭町11-1 ☎03-3743-7270

(9名の東海大学卒エンジニアが活躍しています) 明石博史(50) 株本隆弘(51) 近藤明徳(51) 鈴木敏之(58) 森本健治(59) 岩永英樹(60) 山南真一(61) 長谷川利幸(62) 佐藤暢彦(63)

風水力機械・空調設備・都市ごみ焼却施設・人工降雪設備・真空式下水道などの計画・設計・施工

会社訪問 (株) 荏原製作所

今回は機友会幹事の小杉伸一氏(昭和五十年卒業)が勤務している(株)荏原製作所を会社訪問しましたので、これから紹介いたします。

(株)荏原製作所は東京都大田区羽田旭町に本社のある設立大正九年五月、資本金二百五十一億円、従業員数三千五百名余り、年間売上高一千八百六十億円、経常利益九十一億円の世界最大のポンプ製造メーカーです。

創立者島山一清氏が「大正元年、水力学の権威井口在屋博士の画期的研究『渦巻ポンプに関する理論』を事業化し、水道・農業用ポンプの製造からスタートしました。

昭和に入ると、ポンプの応用機器である冷凍機・水処理機械装置を始めとする各種の産業機械やプラント部門の礎となった電気製塩装置、甜菜糖製造プラントの分野に進出、時代のニ

ズに的確に応えた製品を次々と世に送り出しました。

日本経済の高度成長期には、建築ブームの到来に備えて世界に先駆けて汎用ポンプの専門機器工場を建設し、建築設備用各種ポンプを量産化しました。

現在では所得向上に伴い快速な都市生活への期待がたかまるなかで、生活環境の整備に欠かせない下水道・ゴミ処理分野に力を注ぎ、また二度にわたるオイルショックを経験し省エネルギー形製品を開発販売し、同時に石油代替エネルギーである原子力やLPG・LNGの分野で新技術・新製品を送り出しています。

そして、来るべき二十一世紀に向けて、(株)荏原製作所は「水と空気と環境の明日を考える」をスローガンに、地球規模の環境保全に取り組んでいます。その一つが、酸性雨対策として全



世界から注目されている「電子ビーム脱硫酸システム」。酸性雨の原因となる排ガス中のSO₂、NO_xを除去する画期的システムです。また、都市ゴミや産業廃棄物の処理も大きな問題ですが、旋回流形流動床焼却炉、及びその発展型である内部循環流動床ボイラを開発、低公害な処理と効率的なエネルギー回収を可能にしました。

このように、様々な機器、システム、プラントを社会に提供する総合エンジニアリング企業として、(株)荏原製作所は、グローバルな環境問題に取り組んでいる会社です。

さて、この会社には工場が羽田工場・袖ヶ浦工場・藤沢工場の三工場があり、事務所・営業所・支店は国内では北は北海道から南は沖縄まであわせて七十六を数え、海外ではニューヨーク・ロンドンなど、二十二の事



本社

取材中のスナック



藤沢工場

務所があります。

また、荏原グループとして荏原実業(株)、荏原サービス(株)、荏原インフィルコ(株)、荏原プラント建設(株)をはじめ二十四の関連会社・総合研究所・スポーツセンターから成りたっています。

本社のある羽田工場は、一九三八年に建設され、一貫して大形製品を製作し、口径四千mmを

超える大形ポンプ、水車大形ファン、ブロー、その他に化学機械装置などの製品を加工するための超大形機械設備、遠隔操作による自動計測装置をもった大形ポンプ試験設備、ハイドロ開発のためのモデル試験設備をもった他に類を見ない主力工場です。ここで生産される製品は、都市の上・下水道、農業の灌漑排水を始め発電所、製鉄所、化学工場、原子力発電所、建築設備、船舶など幅広い分野にわたって使用されています。

工場としての試験設備は世界有数の一つです。また、臨海工場として三千七級船舶の接岸ができる専用岸壁を持ち、大形ポンプ、水車、高圧容器、海上プラント(モジュール)などの大形



望月氏・河西会長を囲んで

また、半導体産業向け真空ポンプ、フライングミカル業界用の機器などAPI規格の厳しい規格に準拠した製品を生産しています。以上、簡単ですが、会社概要を列挙してみました。この取材は、人事労務部の多大なご厚意により実現できました。ここに厚く御礼申し上げます。



本社・羽田工場全景



袖ヶ浦工場



(株) 荏原総合研究所

祝 機械系工学科創立30周年・機友会創立10周年

荏原サービス株式会社

〒144 東京都大田区羽田旭町13-3 ☎03-3743-7311

卒業生 柳川雅春(S45) 小杉伸一(S51) 鈴木浩司(S59)



— 快適な生活環境の維持、発展に貢献する —

オフィスビル・デパート・マンション・レジャー施設・各種工場・上下水道・雨水排水設備等に設置されるエバラポンプ・送風機・冷凍機をはじめ各種機器の据付工事・試運転・調整

現在、東海大学の卒業生は(株)荏原製作所、荏原実業(株)、荏原インフィルコ(株)、荏原サービスク(株)、荏原プラント建設(株)など、グループ全体で六十八名、荏原製作所は九名就職しています。

また、工学部機械工学科の卒業生は十五名就職し、各事業所事務所・工場・関連会社で活躍しています。

荏原グループ四社をご紹介します。

荏原インフィルコ(株)

荏原インフィルコ(株)は、昭和三十一年に設立された環境保全のトータルエンジニアリング企業です。設立以来、国際水準の技術力をベースに業界を常にリード、生活の向上と産業の発展に大きく貢献してきました。活動分野は、浄水・用水処理、水質汚濁防止、廃棄物処理、悪臭・騒音防止など。今後はさらに環境をテーマとしたエンジニアリング・コントラクターとして活躍していきます。

荏原サービスク(株)

荏原サービスクは、私たちの暮らしに欠かせない「水」と「空気」と「環境」に関する機器やシステムを製造販売している荏原製作所のサービスク部門として設立されたアフターサービスクの専門会社です。

荏原製品が創り出す水と空気による快適な生活環境と社会環境を、常に優れた「技(わざ)」と「ヒューマンな「和」」をモット

として、維持、発展させることで社会に貢献し、その社会的機能と責任を果たします。

荏原プラント建設(株)

プロジェクトの指揮者として計画・設計・調達・現地工事までの全てをコーディネートすることが当社の役割です。

自然を守り、快適に生活できる良い環境を創り出すために、上下水道・都市ごみ焼却施設・ビル空調等のほか公園などのリゾート分野にも事業展開中です。

荏原実業(株)

当社は荏原製作所の製品を主力として、高い技術力と培われたノウハウを提供している開発型のエンジニアリング商社です。当社では中長期計画を立て、新しい企業文化の確立に向け、展開中です。その柱は、①自社製品の開発②多角化経営③人材の育成④株式公開の実現であります。独自に研究所を擁し、ゾーン濃度計や脱臭剤および池ろ過装置などの製造、販売を行い、さらに水族館ビジネスや、親水公園などに水に関するアメニティ事業にも進出し、21世紀を目前にますます多様化する中で時代に先駆け積極的に事業の拡大を目指しています。

卒業生・紹介

幹事の小林さんのご尽力により、平成三年一月十四日(月曜日)、羽田旭町の本社に十二名の機械科卒業生が集合してくることに。午後一時に取材に行きました。場所は本社二階第220号会議室を会社のご厚意で使用させていただきました。(この室は役員専用会議室だそうです)。ここに、忙しいなかを出席して下さった機友会会員の方々を卒業年度順にご紹介し、後輩への一言を掲載しました。



望月 義久氏

(昭和三十九年度卒)
羽田工場技術サービスク部・海外物件、民需、官公庁物件の見積り計画をします。後輩には活力のある人、体の丈夫な学生に入社してほしい。機友会の一期の一人です。



林 直樹氏

(昭和四十七年度卒)
東京事務所営業第一課。入社時に営業を希望し、民需部門担当。非鉄セメントほか、ゼネコンのポンプ製品全ての販売をしています。会社の触覚が営業だと思ひ、仕事に満足していません。後輩には機械科を卒業したからメーカーに入社してほしい。



佐藤 百一氏

(昭和四十七年度卒)
荏原インフィルコ・エンジニアリング・サービスク(株)東京支店維持管理科。施設管理、プラント運転管理をしています。後輩諸君、ファイト、やる気のあることが大事です。自分から仕事の情報をとるように。



河合 明比古氏

(昭和五十年卒)
荏原インフィルコ(株)東京支店事務所。下水道関連の官公庁基礎工事の現場代理人をしています。後輩にはどんどんインフィルコに入社してほしい。フレックスタイムを導入しています。



佐藤 貞義氏

(昭和五十八年度卒)
東京事務所公共営業部第二課。第一課(荏原実業から出向)東京都水道局交通局など官公庁の営業をしています。



工藤 直樹氏

(昭和六十年卒)
エンジニアリング事業部技術部。蒸留水を作る蒸発管の設計見積りから設置までをしています。後輩には、たとえ勉強があまりできなくてもやる気があれば大丈夫ですとお伝えしたい。



中村 修三氏

(昭和四十四年度卒)
東京事務所風力開発営業部第一課。コンプレッサ、タービンの企画開発の営業で、新しい分野の仕事なので楽しみです。学生は学力も大切だが、理解力や独創性を養うことが大事です。



船曳 洋一氏

(昭和四十七年度卒)
荏原実業(株)民需営業部第二営業部。第一課。荏原製作所の代理店で、民需を担当しています。商社ですが技術部門があります。新卒者は責任感を持ってほしい。当社は一年たつと仕事先の担当がつかえます。



小杉 伸一氏

(昭和五十年卒)
東京事務所営業戦略情報センター(荏原サービスクから出向)営業面でのコンピュータの活用がテーマの仕事をしています。今は、アフターサービスク面の研究・開発を行なっています。後輩への一言は、「やる気のない人間は来なくていい」。



株元 隆弘氏

(昭和五十年卒)
荏原プラント建設(株)工事部第三課。焼却炉・ボイラーの工事管理をしています。後輩には、仕事は上司命令やお客様の言われたことだけの受身ではなく、自分で出先で仕事ができます。これからの学生はマイコン制御すれば伸びますということをお忠告しておきたい。



鈴木 浩司氏

(昭和五十八年度卒)
荏原サービスク(株)汎用サービスク事業部サービスク課。加圧給水ポンプの制御をしています。全国に七十ヶ所の営業所がありますので出身地で仕事ができます。これからの学生はマイコン制御のため電気の基礎知識が必要になってきます。



佐藤 暢彦氏

(昭和六十二年卒)
荏原プラント建設(株)プラントエンジニアリング部。下水道関係の民需部門のポンプ配管、機械の詳細設計また納入までしています。後輩には当社には、卒業生が九名おり、ぜひあとに続いてほしいです。

MESSAGE FROM EBARA CORPORATION



「もしもし、あのー私、地球と申しますが最近お肌が荒れて困っているんですの……」

とお嘆きの声は、
ミス太陽系と名高い地球女史。
エネルギー問題、環境汚染など高度に発達した現代文明から生まれるさまざまなトラブルはその美貌を脅かしつつあります。

もし地球を美しく保とうとするなら、私たちが果たさなければならない仕事はたくさんあります。

荏原製作所は、水と空気と環境をテーマに社会に貢献する、総合エンジニアリング企業。いつまでも美しい地球を守りつづける—それが私たちのねがいです。

- エバラの「地球にやさしい」技術
- 電子線排ガスシステム
 - 都市排熱利用ヒートポンプシステム
 - 地域冷暖房システム
 - 下水排熱回収システム
 - コージェネレーションシステム
 - アーバンエネルギープラザ
 - ごみ転換燃料システム
 - エリアマネジメントシステム
 - 騒音予測・防止システム
 - 廃棄物管路輸送システム
 - 上下水道総合管理システム
 - バイオカルチャーパーク
 - 人工降雪システム
 - 故紙回収再生装置
 - 他

- 大正9年設立
- 資本金約252億円('90年9月末現在)
- 国内拠点75ヶ所
- 国外拠点
- 駐在事務所9ヶ所
- 現地法人24ヶ所
- 荏原グループ
- 荏原総合研究所
- 荏原インフィルコ
- 他、国内外68社

株式会社 荏原製作所
〒114 東京都大田区羽田旭町11-1
EBC (03) 3743-6111

卒業生の声

第二工機械を卒業して

イースタン技研株
大西 徹



大学生活四年間で、いろいろな事を学んできました。学問はもちろん人のお付き合いや学問以外の事、むしろ私にしてみれば学問以外で学んだほうが大きかったように思われます。とくに、クラブ活動や学生会活動です。第二工という事で昼間仕事をし、夜勉強をし、その

後でのクラブや学生会の活動。授業中眠い目をこすりながら書いたノート。疲れきった体でやったクラブの練習。また、毎年九、十月になると学生全員で毎日遅くまでした建学祭の準備。どれをとっても、いつもガムシヤラに乗り越えてきました。このように大学で四年間いろいろやってこられたのも、一人では出来なかつたことです。先生や先輩、友人がいてくれたお蔭です。勉強で疑問に思ったら先生のところへ行き、納得いくまで指導してもらい、また、仕事やクラブのことなどで行き詰まったら、先輩や友人と、朝が来るまで語り合ったりもしました。今になってみれば良き思い出となつてしまつたことばかりです。しかし、ただ単に思い出とし

女性も学べる機械工学科

東海大学学務課
阿部 理香



東海大学第二工部機械工学科を卒業してから、早いものでもう一年が過ぎようとしています。高校では工業化学を学んでおりましたが、在学中から機械方面に進学したいと思つていました。ですからこの第二工部部に合格したときは迷わず入学を決めました。

入学してみると機械工学科に女子は私ただ一人。四年間続け

ていけるだろうかと不安ではありましたが、元来男の様な容姿でこれました。それに、建築科には結構女の子が多かつたので体育の時間なども不自由はありませんでした。しかし、代返だけは声でバレーしてしまうので無理だという難点(?)はあったのでした。私はとても人見知りをする性格でしたので(誰も信じてくれない)、できるだけ積極的に色々な手を出し、この性格を変えようと思ひ、学生会やクラブにも参加してきました。勉強するつもりで入学したはずだったのですが、いつのまにかどちらが本業かわからなくなる程でした。しかし、課外活動を通じて得たものは非常に多く、忘れられないものとなりました。第二工部部の学生は、二足のわらじをはいていると言われます。せつかくですから、三足、

在校生の声

四年間をふり返つて

東海大学大学院
大八木隆春



私にとってこの四年間、非常に短く感じながらも、大切な事を沢山学んだような気がしています。入学当時、山形から上京してきた私は、カルチャーショックを受け、下宿の友達どうしでかたまっていました。それが、大学の雰囲気慣れるにしたが、余裕を持った生活を送ることができるようになりました。この学科の楽しさを教えてくれたのは、先生方でした。転科の事で悩んでいた私に、この学

卒業式を目前にして

東海大学大学院
河合 直樹



早いもので、私が東海大学に入学してから四年の歳月が経とうとしています。入学当初は、本学のキャンパスの広さと本学科の女子生徒の少なさに、ただただ圧倒され、がっかりしました。一年の時にはそんなに大変だと思わなかつた勉強も、年をううごとに忙しくなり、今では時間追われる毎日です。そういう環境にも次第に慣れ、現在では忙しいながらも大学生生活をエンジョイできているようになりました。この大学四年間を振り返つて、「大学に入ってよかったと思う事は？」と聞かれた時、私は次の二つを挙げるとしています。まず一つは、機械技術者として自立していくのに必要な、基礎を築くことができたことです。三年までに習った各授業で、技術者として必要な基礎知識を、そして四年時の卒業研究では、実際に現場で仕事をする際の、仕事の進め方を学ぶことができたと考えています。特に卒業研究では、一年という長い期間の中で、計画的かつ効率的に研究を進め、その成果をまとめることが出来たと思います。この一年を通じて、仕事を段取り良く進めるやり方や、壁に当たった時の克服の仕方を学ぶことができた

科へのアドバイスをくださった先生方や、激励、指針を与えてくださった卒研の先生には、深く感謝しています。この四年間、私は部活動を続けることができた事に對して、まず最初に、同輩に有難うと言いたいです。一年生の頃は、自分達の粗相のために、「しこき」が何度もあり、苦しかった思い出だけが残っていますが、今では、目上の人への礼儀、同輩の大切さを痛感した四年間であったように思います。また、日曜日も大会等で潰れてしまい、自分の時間があまりありませんでしたが、逆に計画性のある充実した生活を送ることができたと思います。

一年の時から、自転車の素時しさを知り、それ以来、長期休暇を利用して、テント持参で、北海道や九州一周を一人旅しました。今まで、何となく育つてきた私にとって、これらの旅は、いろいろな事に困惑したり孤独感に襲われたり、自分の無力さを感じずにはいられていませんでした。しかし、そんな時、現地の人々のやさしさに数多く触れたり、何となく勇気づけられたりと、貴重な体験を沢山することができました。最後になりましたが、御指導くださった東海大学機械工学科の諸先生、先輩方及び同輩の方々に、改めて深く感謝いたします。

時代を知り合った友人達を、私は決して忘れないでしょう。最後に、四年間、私達を温かく御指導下さいました東海大学工学部動力機械工学科の諸先生、ならびに諸先輩方に深く感謝し、今後、本学本学科のさらにより一層の発展をお祈りして、卒業に際しての挨拶とさせていただきます。

東海大学機友会平成元年度会計報告

平成2年3月31日現在

収入の部 (単位円)	支出の部 (単位円)
前年度繰越金 3,726,915	事務諸経費 176,639
平成元年度学生会費納入金(206名分) 2,040,000	会報発行経費 462,643
既卒者会費納入金(3名分) 29,930	名簿(第2版)発行経費 122,454
会報6号掲載広告料(4社分) 130,000	卒業生勧誘事業経費 101,000
卒研セミナー特集号掲載広告料(5社分) 218,764	幹事会諸経費 76,150
預金利息(横浜銀行分) 9,947	雑費 122,918
	小計 1,061,804
	次年度繰越金 5,093,752
合計 6,155,556	合計 6,155,556

平成2年10月21日 上記監査の結果、相違のない事を認める。 監査 佐々木彰・鈴木良幸

祝 機械系工学科創立30周年・機友会創立10周年



— 水と空気と臭いに挑む —

主要営業品目：風水力機器 空調機器 ボイラ 水処理装置 各種公害防止装置ほか

荏原実業株式会社

〒104 東京都中央区銀座7-14-1 ☎03-5565-2881

卒業生 船曳洋一(S47) 佐藤貞義(S58)

自社開発製品：オゾンモニター 脱臭剤(ポエフ) 脱臭装置 生物汚過装置ほか